

# 国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H23.11.30 第179回国会第1号

11月30日(水)、第1回の合同審査会が開かれました。

## 1 国家の基本政策に関する件

・谷垣禎一君(自民)及び山口那津男君(公明)が、野田内閣総理大臣と討議を行いました。

(討議者及び主な討議内容)

### 谷垣 禎一君(自民)

- ・防衛省沖縄防衛局長の米軍普天間飛行場移設に向けた環境影響評価書の提出をめぐる不適切な発言(平成23年11月28日)一川防衛大臣の一連の公務に対する責任感の欠如に対してどのように対応するのか。また、こうした状況下で予定通り環境影響評価書を沖縄県に提出するのか。
- ・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉への参加に関し、総理の考える国益の具体的内容を伺いたい。また、情報の公開を十分に行ってもらいたい。
- ・消費税増税に関し、年内に、税率、引き上げ時期を含んだ法案をまとめて閣議決定をするのか。
- ・社会保障・税一体改革成案(平成23年6月30日)作成の際、年金一元化や最低保障年金等の制度設計についてどのような検討を行ったのか。

### 野田 内閣総理大臣

- ・平成20年11月28日、外務委員会で質問した際、当時の自民党の伊藤外務副大臣は、TPP交渉参加を真剣に検討すると答弁した。TPP問題についての自民党の立ち位置はどこか。
- ・政府が消費税増税について素案をまとめたら自民党は協議に応じるのか。

### 山口 那津男君(公明)

- ・普天間飛行場移設問題での民主党の方針の迷走に加え、今般の沖縄防衛局長の不適切発言について、総理自身は、沖縄の皆さんにどう説明するのか。
- ・福島県をはじめとする被災地の復興の推進とそのための予算の速やかな執行への決意を伺いたい。
- ・社会保障・税一体改革の全体像を明らかにし、2013年ではなく年度内に、抜本的な年金制度改革案を提出すべきと考えるが、見解を伺う。